

別紙

## 福祉サービス第三者評価の結果

### 1 評価機関

名称：特定非営利法人 環境・福祉事業評価センター	所在地： 長野県長野市南高田2-5-16
評価実施期間： 令和2年7月1日から令和2年12月25日まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050301 B15021 B18055	

### 2 福祉サービス事業者情報（令和2年10月現在）

事業所名：(施設名)長野市 西部保育園	種別：保育所	
代表者氏名：市長 加藤 久雄 (管理者氏名)保育・幼稚園課課長 島田 みち代	定員(利用人数):150(107)名	
設置主体：長野市 経営主体：長野市	開設(指定)年月日： 昭和47年4月1日	
所在地：〒388-8012 長野市篠ノ井二ツ柳779		
電話番号：026-293-1049	FAX番号：026-293-1049	
電子メールアドレス：Seibu-hoiku@city.nagano.lg.jp		
ホームページアドレス：http://www.city.nagano.nagano.jp		
職員数	常勤職員：22名 非常勤職員 18名	
専門職員	(専門職の名称) 名 保育士 16名	
	園長 1名 看護師 1名	
	保育主任 1名 調理員 3名	
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	乳児室 3室 ほふく室 2室	三間低鉄棒、複数滑り台、ジャングルジム、 はん登棒
	保育室 5室 調理室 1室	
	事務室 1室 遊戯室 1室	
	沐浴室 1室 便所 5室	
屋外遊技場 1,340㎡		

### 3 理念・基本方針

<p><b>【保育理念】</b></p> <p>○こどもの健やかな心身の発達を図り、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・児童福祉法に基づき、保育を必要とする子どもを保育することを目的とする。</li><li>・子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進する。</li></ul> <p><b>【基本方針】</b></p> <p>○安全で安心できる生活の場を整え、子どもが自己を十分発揮できるようにします。</p> <p>○専門の資格を持った職員が養護と教育を一体的に行い、子どもの発達を援助します。</p> <p>○保護者の気持ちを受け止め、共に子育てをします。</p> <p>○家庭と連携を図りながら、子育ての悩みや相談に応じ助言するなど、地域における子育て支援の拠点として、社会的役割を果たします。</p>
--

○保育を実践するにあたっては、「全体的な計画」に基づき、一貫性を持って子どもの実態に応じた柔軟な保育を展開します。

【長野市西部保育園の保育目標】

- よく食べよく遊ぶ子ども
- 思いやりのある心豊かな子ども
- 考え行動する子ども

#### 4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

【西部保育園の概要】

西部保育園は昭和26年4月に川柳保育園として川柳小学校北校舎の2教室と庭、トイレ、給食室を共用し設立し、昭和47年4月に川柳保育園と塩崎東部の軻良根古（からねこ）季節保育園を統合し現在の西部保育園が新設された。その後平成22年新園舎が完成し現在に至っている。

広々として水田地帯の中にあり、南にはJR篠ノ井線、新幹線、高速道路を望み行き交う電車が目前に見える、北には塩崎に向かう農面道路が走っている。周りは昆虫や水生物、鳥類などの自然環境に恵まれている。平成15年より篠ノ井西部小学校北側に住宅地が造成されるようになり、戸建て住宅が増えた。核家族が多く、入園する子どものほとんどは長野市1番の大規模校の篠ノ井西小学校に入学する。

定数150名の大規模保育園であり、0歳児4人、1歳児13人、2歳児11人、3歳児25人、4歳児27人、5歳児以上27人の107人となっている。乳児室はひよこ組（0歳児）りす組（1歳児）こあら組（2歳児）つき組、ほし組（3歳児）にじ組（4歳児）そら組（5歳児）としてクラス編成されている。特に未満児の編成はベテランの職員が配置されており良く出来ている。生後4か月よりの未満児や、障がい児を受け入れている。園開放（おひさま広場）で5月から2月まで毎週木曜日に未就園児を対象に開催している。また、延長保育、未就園児の一時預かり保育を提供している。人口の増加と共に入所園児数も増え時間外保育利用が増えている。

職員配置では、非常勤保育士が12名、看護師が1名常勤しており健康支援、事故防止やけがや病気、アレルギーの対応や保護者への対応をしている。また新型コロナウイルス等の感染症対応している。

【西部保育園の特徴的な取り組み】

園外保育の充実

平成29年に「信州やまほいく（信州型自然保育）」の認定を受けている。蛙、てんとう虫、バッタ、ザリガニなどがいる田園地帯の豊かな自然環境の中で、散歩等自然を取り入れた保育を行っている。職員も園内研修をして学びを深めている。

毎朝、運動遊びやマラソンなどを行い、楽しく遊ぶことから運動機能の発達を促す保育を行っている。CDで音楽を流し運動と遊びのプログラムの活用で運動機能の育成を図っている。

子育て支援

「おひさま広場」（園開放）や子育て相談、一時預かり事業や親支援が必要な家庭の支援を行っている。

地域との交流と個別に配慮が必要な子の支援

障害者支援事業を行っている「長野市篠ノ井愛の樹園」などと地域にある施設との交流を行っている。障がいを持った子どもとの交流や個別に配慮が必要な子の支援を行っている。今年は新型コロナウイルスの影響で交流は中止している。

## 5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	2回（平成30年度）
---------------	------------

## 6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

### 特に良いと思う点

（1）新型コロナウイルスの感染症に組織全体で取り組んでいる。

新型コロナウイルスの感染防止について集団発生防止のため園全体で取り組んでいる。看護師が1名常駐しており、保護者、職員、園児に関する感染症対策の中心として機能しており、保護者の安心に繋がっている。毎朝保護者から、園児の検温と健康観察の記録を登園時に確認し、職員で共有し、登園後は活動に移る前に手洗い、職員も出勤後手洗いのあと業務に移っている。職員は業務中マスクを着用し、各保育室にアルコール消毒を設置、食事中はテーブルを離し、園児とは別の場所や時間をずらしている。また、保育室、事務室、給食室の換気を定期的に行っている。これらの感染防止については全ての職員に共有されている。行事については中止や変更となっているが保護者アンケートを実施し「保育及び教育の全体的な計画」が達成できるよう工夫して努力している。保護者が参加できない行事については保護者とは園児を玄関で引き渡すため玄関先での掲示や園児の写真を工夫して掲載している。また園長、職員が積極的に園児の登園やお迎え時に園外で保護者に挨拶している姿があった。これらの取り組みは保育園全体で行っている。職員の負担も増えているが、職員の感染予防や保護者との信頼につながっており特に良い点として評価できる。

（2）ゆとりのある保育を行っている。

園児の笑顔があふれており、保護者利用者アンケートでも満足度が高く総合的感想では「たいへん満足している」が41%、「満足」が46%、「どちらかといえば満足している」が10%で合計97%の方が満足している回答となっている。総合的に満足している結果は前回の78%より向上している結果となっている。自然豊かな田園地帯の真ん中にあり、「信州やまほいく（信州型自然保育）」の認定を受けている。蛙、てんとう虫、バッタ、ザリガニなどがいる田園地帯の豊かな自然環境の中で、散歩等自然を取り入れた保育を行っている。また、園舎の敷地も広く、屋外遊具や砂場が確保されておりゆとりある施設環境が整っている。プールは固定ではなく夏の間だけ設置するようになっており、普段は園庭も広く活用できゆとりの空間ができています。地域の農家の方等地域の交流があり、保護者との関係も良好で保護者会で連絡網の配信システムが導入されている。職員の配置もゆとりある体制となっている。看護師1名の配置が保護者や保育士へ安心感につながっている。園外での登園やお迎えでの挨拶や職員同士の連携がある。「心のゆとりと時間のゆとりで事故のない職場づくり」のスローガンが事務室の掲示されており、職員のゆとりがゆとりある保育のサービスに生かされている。自然豊かな環境、ゆとりある園舎の環境を生かした保育が行われており、保育のサービスの質の向上に繋がっていることが特に良い点として評価できる。

（3）個別支援が必要な子へ支援が充実している。

長野市では長野市子ども・子育て支援事業計画の中で障がい児等の受け入れの強化と支援を掲げている。西部保育園では、特に障がいなど配慮が必要な子どもへの支援を整えている。また障害者支援事業を行っている「長野市篠ノ井愛の樹園」などと地域にある施設との交流を行っており、障がいを持った子どもとの交流や個別に配慮が必要な子の支援を行っている。職員間での支援体制を共有しており、児童相談所等の専門機関と相談できる体制が整っている。また、園では保育を必要とする専門の相談員である特別支援教育・保育コーディネーターの役割が機能している。医療的なケアや障がいのあるなしに関わらず、一人ひとりの個性を尊重し全てを含む意味をもつインクルーシブな環境を幼いころから経験することで、子どもがお互いに大切にすることを育むよう努力している。看護師が常駐し医療的ケアを担当し、保育士と連携し、障がいのあるなしに関わらず、別室を設けることもなく過ごし共に遊ぶインクルーシブ保育を実践している点は特に良い点として評価できる。

### 特に改善する必要があると思う点

（1）災害時における安全確保の取り組みの定期的な見直し

西部保育園では、昨年の台風19号の災害で、周りの田んぼが水没し、床下浸水の被害を受けた。災害への対応では園長を中心に職員の懸命な努力で復旧し再開となった。園では、火災発生、地震発生、風・水害、土曜日・時間外保育時における危機管理マニュアル、災害時における停電時の対応について、灯油の流失防止等のマニュアルが整理されている。また、非常食の備蓄や避難訓練や消防訓練、通報訓練等各種防災訓練が行われている。避難場所は運営規定で定められている篠ノ井西小学校、風・水害の

篠ノ井体育館となっている。訓練は様々の想定で行われているが水害等での避難場所に定められている篠ノ井西小学校や篠ノ井体育館への避難の誘導や保護者への連絡や引き渡し等の課題がないか水害の経験を活かし定期的に見直すことを期待する。また、園では自家発電装置を保有している。この自家発電装置についても定期的な試運転の確認を行い災害時の使用が確実にできることを希望する。更に長野市においては地震等の災害について具体的な震度想定による被害を予想した対策として事業継続を確実にするための長野市業務継続計画（BCP）震災編が策定されている。保育園についても被災した後の保育施設をいち早く運営再開するための独自の事業継続計画（BCP）の策定（電気やトイレの使用ができない場合や職員の出勤が困難な場合等）を今後検討することを期待する。

#### （２）不審者に対する安全な対策の充実

利用者アンケートの「外部からの侵入に対して安全な対策が取られていますか」の質問では「はい」が28%、「どちらともいえない」が46%、「いいえ」が10%となっており「はい」の割合が低い項目になっている。前回のアンケートでは「はい」が31%、「どちらともいえない」が45%、「いいえ」が16%であり前回のアンケート結果に引き続き同様の結果となっている。

西部保育園は田んぼの中に独立しており、四方はフェンスで囲まれている。見通しもよく玄関の入り口の施錠を徹底している。「部外者発見のマニュアル」を整備し不審者対応の訓練を実施したり保育士同士の役割を決め連携を図る取り組みをしている。

しかし、他の保育園と同様に、この利用者アンケート結果が低く、また保護者からの防犯対策の要望が多い項目となっている。保育園に通う年齢の低い子ども達にとって狙われやすい存在であること、また、保育園に対する不審者侵入事例が発生していることから、保護者からの不審者対策を求める要望が多い。

このような状況の中で、長野県においても佐久市で市立全ての保育園に防犯カメラを設置する報道がありました。予算がかかりますが、防犯カメラやオートロックの設置、正面玄関でのインターホンとカメラでの確認等の検討も必要な時期にきていると思われる。防犯カメラの設置については、プライバシーの保護を含め保護者、警察、行政の連携や、予算について議会等様々な関係者との協議が求められる。安全な対策の検討が更に進むことを期待する。

## 7 事業評価の結果（詳細）と講評

共通項目（別添1）

内容評価項目（別添2）

## 8 利用者調査の結果

アンケート方式の場合（別添3 - 1）

## 9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添４）

（令和２年１２月１１日記載）

今回の受審は一昨年に続き２回目となりました。毎年職員の入替わりがありますが、良いところはそのまま続けていき、課題となったことは少しでも改善できるようにしたいという思いで研修や話し合いをしてきました。

昨年度の台風被害に続き今年度は新型コロナウイルス感染症の対策が大きな課題となっています。対策のための話し合いや対応に時間を取られることも多く、職員の負担が大きくなっていますが、この恵まれた環境の中でいつもと変わらない生活ができるよう全員で協力し合い過ごしています。保護者の皆様にもいろいろな面でご協力いただいています。園の取り組みにご理解をいただいていることに感謝し、今後も子ども達の最善の利益につながるよう地域の子育て拠点としての役割が果たせるよう努めていきたいと思えます。

最後になりましたが、環境・福祉事業評価センターの皆様には自園の良いところや改善点を示していただきありがとうございました。